

ノーレジ袋の推進について

- H20.4に東・中・西地域でノーレジ袋推進協議会を設立。
- 毎月10日を「ノーレジ袋デー」として、店頭キャンペーンを各協議会で展開。
- H24.10に東部地域で主要スーパー等によるレジ袋削減に関する協定が締結。
- 昨年10月20日、ノーレジ袋推進シンポジウムを米子コンベンションで開催。

【昨年8月】「鳥取県マイバック作品コンテスト」の実施

【9月】「マイバックコンテスト審査会」の実施

【10月】「マイバックコンテスト表彰式及び発表会」の実施

- ・10月20日(日)に「ノーレジ袋推進シンポジウム」を杉本彩さんを招いて開催。
- ・「おしゃれに買物」をスローガンにトークショーを開催。
- ・パルコスとのコラボレーションによるマイバックコンテスト表彰式を行い、優秀作品等をお披露目した。

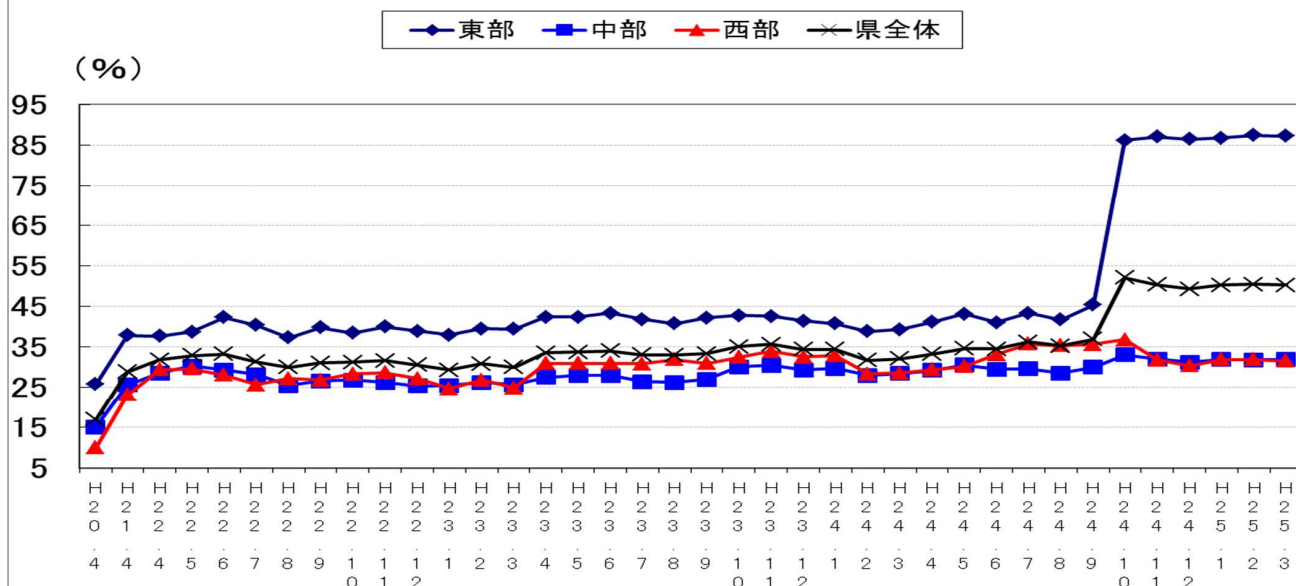
【平成26年～】今後のレジ袋削減に向けた取組方針

- 【東部】平成24年10月から主要スーパー等で「レジ袋無料配布中止」を開始。
現在、新規進出店舗とドラッグストアーなど他業種への働きかけを行っているところ。
- 【中部】昨年末のノーレジ袋推進協議会で、賛同していただける店舗のみで実施することを検討。
- 【西部】昨年末のノーレジ袋推進協議会で、夏を目処に賛同していただける店舗のみで実施することを目指す。

【現状】レジ袋辞退率の推移

- 東部地区は、昨年10月のレジ袋有料化の実施により、辞退率が急上昇(86.2%)
- 中部地区(33.0%)、西部地区(36.8%)と低調に推移。

	H20.4	H21.4	H22.4	H23.4	H24.4	H24.9	H25.3
東部地域	25.7	37.8	37.6	42.3	41.1	45.3	86.2
中部地域	15.0	25.5	28.5	27.4	29.2	29.9	33.0
西部地域	10.0	23.0	29.4	30.9	29.4	35.6	36.8
合計	16.9	28.8	31.8	33.5	33.2	36.9	52.0



【現状】レジ袋有料化を実施した東部地域について

- 昨年10月1日、レジ袋有料化を実施。顧客からのクレームもなくスムーズにスタート。
- レジ袋辞退率が45.3%（実施前）から82.2%（昨年10月の実績値）に大幅上昇。
- 一方、レジスピードの低下や支払済の状況把握困難などの課題も浮き彫りとなった。
- レジ袋収益金は、事業者から環境活動支援団体等へ寄付している。

事業者の声

【良かった点】

- レジ袋無料配布中止により、顧客とともに従業員も環境保全に寄与できているという満足感がある。
- 顧客自身も環境保全への取組意識が高まった。
- 顧客からのクレームが心配だったが、この取組の支障は一切発生しなかった。
- 一時的に使用量が増える資材（ポリ袋等）もあるが、全体としては大きな資材削減に繋がっている。
- レジ袋の配布数が、スタートから日数が経過するとともに減少し、顧客も慣れてきた。

【困っている点】

- 段ボール箱の使用頻度が増えたため、段ボール箱の在庫確保作業、補充作業が増えた。
- レジ後ろのサッカー台のポリ袋の使用頻度が増えた。
- マイバックの袋詰め作業により、レジスピードが遅くなった。
- マイバックの場合、支払い済の状況が把握しにくい。
- マイバックを持参せず、レジ袋を辞退する顧客が再度売場に戻り買い物するケースにおいて、万引きする人が発生した。商品が清算済と未清算との区別ができないため、万引きが摘発できないケースが増えた。

お買い物マナーをイラストで解説したポスターを配布
（レジ袋有料化を実施した店舗のみ）

【現状】県内主要スーパー等の店舗数など

地区	企業名	マイバックへの対応	店舗数
東部	イオンリテール	レジ袋有料化（H24.10開始）	1
	トスク	〃	12
	エスマート	〃	8
	サンマート	〃	9
	天満屋ハッピーマート	〃	1
	マルイ	〃	3
			34
中部	ジャコム中央	ポイント制	10
	東宝企業	ポイント制	6
	新あじそう	ポイント制	2
	マルイ	スタンプ制	2
	丸合	2円キャッシュバック	3
			23
西部	イオンリテール	レジ袋有料化（H24.11開始）	1
	フーズマーケットホック	特典なし	5
	イオン米子駅前店	2円キャッシュバック	1
	いしかわ	2円キャッシュバック	3
	鳥取西部ジェイエイショップ	ポイント制	8
	丸合	2円キャッシュバック	20
	岡田商店	スタンプ制	3
マルイ	スタンプ制	3	
			44